

# 有限会社 肉の片山

## DX宣言書

2024年10月23日  
有限会社 肉の片山  
代表取締役 小杉 知明

### □ 経営理念

安心安全へのお約束  
おいしさへの挑戦  
信頼への誓い

### □ DXビジョン(2~3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術を活用し、社員が安心して働ける環境を整え、ワークライフバランスを実現します
- ◆ 業務基盤を確立し、更なるDX推進のビジョンを描くことで、発展し続ける会社を目指します

### □ DX戦略・施策

#### ➤ フェーズ1(現在 ~ 2025年9月)

戦略 「デジタル技術導入を通じた働きやすい環境の整備」

- 施策
- ・ 勤怠システムを導入し、日々の勤怠管理が簡単に行えるよう出退勤打刻をオンライン化
  - ・ 勤怠データのオンライン化により、出退勤情報や残業時間が自動で記録されるようになり、ミスがなくより正確でスムーズな給与支払業務を実現
  - ・ 勤怠システムの機能を活用し、有給休暇申請、残業申請、給与明細をペーパーレス化
  - ・ 上記施策を社内へ浸透させ、気軽に休暇取得しやすく、周囲と連携しながら計画的かつ効率的に業務を進めることができる環境を整備
  - ・ デジタル技術が身近で扱いやすいものだと感じてもらえるよう、グループウェアの社内掲示板機能やスケジュール共有機能を活用
  - ・ 導入済みシステムの定着フォローに加え、DX推進の理解を深めるために他社のデジタル活用事例を学ぶ研修や勉強会を開催

#### ➤ フェーズ2(2025年10月 ~ 2026年3月)

戦略 「現状分析と業務プロセスの可視化を行い、総務・経理業務の効率化への土台づくりを推進」

- 施策
- ・ 現在の業務内容や既存ITツールの利用状況を調査し、業務の流れを可視化
  - ・ 業務負担の軽減に繋がり、業務効率化を図れる業務を中心に、ペーパーレス化の対象範囲を設定(取組例:紙の日報をオンライン化、在庫システムを最大限活用し棚卸作業の負担軽減する等)
  - ・ 上記対象範囲に基づき、既存ITツール活用方針の検討や必要に応じて新規ITツールの選定を実施
  - ・ 業務効率化に向けた計画を策定

#### ➤ フェーズ3(2026年4月 ~ 2027年9月)

戦略 「業務基盤を整え、更なるDX化ビジョンを構想」

- 施策
- ・ フェーズ2で策定した計画を実行し、定着に向けた活動を推進
  - ・ 作業の標準化を図るため、作業マニュアルをオンライン上で確認できるように整備し、ノウハウを共有することで生産効率の向上や休暇取得の活発化を実現
  - ・ 生産拡大に向けた更なるDX化ビジョンを構想し、実現に向けた活動を実施

### □ DX推進体制

- ・ 総務部トップがDX推進における統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

### □ DX推進目標

- ・ 有給休暇取得率 : 2023年度比 70%以上(~2027年9月)
- ・ 紙の使用量削減率 : 2023年度比 10%(~2027年9月)